



沖縄DX中核人材会

2026年の開催運営について

(アンケートとヒヤリング調査結果を踏まえて)

2025年12月22日（月）

一般社団法人 UX設計技術推進協会

1. はじめに

- ① 人材会の背景、 ② 2026年の人材会の開催概要について

2. 2025年活動振り返り

- ① 目的、 ② 2025年の人材会の開催概要、
- ③ 第1回の意見交換会後のアンケート調査結果：会の目的と期待及び得たい事
- ④ 第1回の意見交換会後のアンケート調査結果：開催頻度と開催方法
- ⑤ 第3回の意見交換会後のアンケート調査結果：開催曜日と時間、議論内容
- ⑥ 第3回の意見交換会後のヒヤリング結果：意見交換のテーマ、内容等

3. 2026年の人材会の運営について：

- ① 概要R5年度講座修了者の実業挑戦への枠組み
- ② 年間開催日程（予定）

4. 実践教育（OJT）推進体制：実プロジェクト推進を実践する

5. まとめ

1. はじめに：人材会の背景

- ◆ 「沖縄DX中核人材会」は、令和5年度内閣府助成事業「沖縄型産業中核人材育成」における
顧客体験価値の創出により新たなビジネスモデルと地域DXをリードする人材の育成プログラム
の修了者が、習得した知識を実践できる機会を得るために、定期的な情報及び意見交換を行う場を運営するものである
- ◆ 本活動は、前述育成プログラムの受託者であった株式会社ブルー・オーシャン沖縄の崎山執行役員の承諾を得て、一般社団法人UX設計技術推進協会UXDQ（前述育成プログラムの講師担当）が、ボランティア活動として推進している
- ◆ 第2回の会合から、令和元年・2年の「沖縄産業型中核人材育成」
 - ・ R1年度：UXの価値を向上させる施策を提案可能とする人材の育成プログラム
 - ・ R2年度：UX設計による高い付加価値を理解しビジネスに繋げる人材の育成プログラム（継続）の修了者に、事業受託者である一般社団法人IIOTの事務局より人材会を紹介して頂いた。
- ◆ これは、この育成プログラムをUXDQが担当をした関係から連携である

1. はじめに：2026年の人材会の開催概要について

項目	内容
目的	1. ① 意見交換を通じて、世の中の動向を理解する ② 自分の業務に活かすこと ③ 自分の困った事等を相談する 2. 今後の展望や課題を共有し、今後のビジネスの可能性を模索し、社会貢献を実現する、更なる親睦を深める 3. 自分の課題と期待を整理して、成長に向かい前進する知恵とエネルギーを得る場に参加者の協力で構築する 4. 参加者間で活発な意見交換を行い、ビジネス機会を創出する貴重な機会とする。
開催方法	1. 3か月毎に開催する 60分 / 回とする （2025年同様） ※ 懇親会は親睦を深めるために、会の後に計画する 2. 開催日程は、年初に年間計画を共有して、各会開催2か月前にメールにて発信する 3. 開催方法は、オンラインと対面のハイブリット方式で開催する（2025年同様）
意見交換 テーマ	・ 会での意見交換のテーマについては、アンケート及びヒヤリング調査結果を踏まえて A.「参加者（修了者）の抱える課題・話題」、 B.「対応する仕事（仕事案件等）、市場の最新話題」 ① Aの時間枠を30分～40分を持ち、当日の参加者から提供をして頂く ② Bについては、事務局側で準備を行い、会話の状況で情報を提供するようにする ※ 対象する仕事案件については、メンバーの方々からの協力依頼もお待ちしております
情報共有 方法	・ 日常の困り事、気が付いた事、興味ある事、知りたい（質問）事 等を都度、共有する環境を構築して運用する “Zoom Chat”のような情報共有ツールを立上げて、意見交換の活性化する ※ 1月は、一部のメンバーと実証実験を行い、その結果を踏まえて、2月の会合より運営を開始する予定である
開催日程	・ 第1回：2月13日（金）、第2回：5月15日（金）、第3回：8月28日（金）、第4回：11月27日（金） 開催時間：18:30 – 19:30



2. 2025年振返り：① 2025年の人材会の目的

1. 意見交換を通じて、世の中の動向を理解して、自分の業務に活かすこと、自分の困った事等を相談することなど、今後の展望や課題を共有して、今後のビジネスの可能性を模索し、社会貢献を実現するとともに、更なる親睦を深める。
2. 自分の課題と期待を整理して、成長に向かい前進する知恵とエネルギーを得る場に参加者の協力で構築する
3. UX / DX推進人材の今後の役割と成長（ビジネス）について、市場を知り、自分で考える
4. 参加者間で活発な意見交換を行い、ビジネス機会を創出する貴重な機会とする。
 - ① 事務局から、研修後のビジネス環境の変化、今後の研修/ビジネスの機会の可能性等の話題提供
 - ② 今後のビジネスの機会を考え、行動する方法について意見交換する

2. 2025年振返り：② 2025年の人材会の開催概要

◆ 2025年は、下表に示すように3回実施して、市場状況及び実績紹介を行うことができたが、
修了者自身の体験や課題等の会話が有効に実施することが出来なかった（この点が反省点である）

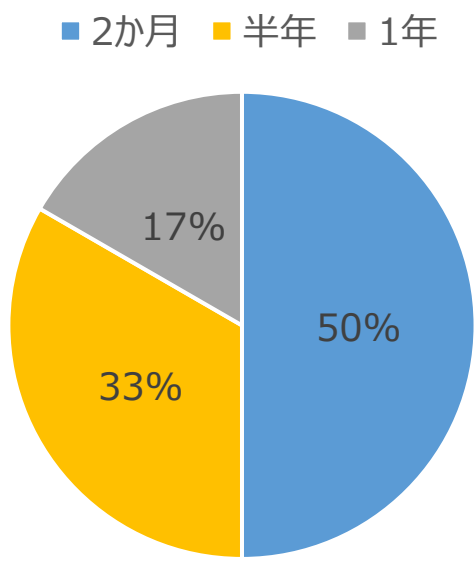
項目	第1回	第2回	第3回
開催日時 意見交換会 第一部	2025年3月14日（金曜日） 18:30 - 19:30（60分） ブルー・オーシャン沖縄の会議室	2025年 6月20日（金曜日） 18:30 - 19:30（60分） AGATE 多目的ルーム	2025年10月23日（木曜日） 18:30 - 19:30（60分） AGATE 多目的ルーム
懇親会 第二部	DINING亜炉麻 098 - 943 - 2727 20:00 - 21:30（90分）	DINING亜炉麻 098 - 943 - 2727 20:00 - 21:30（90分）	炉端のかうだ 098-860-6647 20:00 - 21:30（90分）
意見交換 内容	1.本会の目的、内容について 2.「DX推進人材認定」試行の共有 3.研修受講後の思い、取組み 4.北海道リカレント教育活動を共有 5.参加者近況、思う事を意見交換 6.今後に向けて 7.次回予定とアンケート調査依頼	1.本会の目的、内容について 2.既存事業を成長させる活動状況 3.事業成長に取り組んでいる感想 4.参加者近況、思う事を意見交換 5.今後に向けて 6.次回予定	1.本会の目的、内容について 2.ヤンマーHDにおけるUX人材 3.DX_UXを身近に 4.仮説：課題と期待、ユーザー要求 5.今後に向けて 6.次回予定とアンケート調査依頼
参加者	修了者 4人 県外企業アドバイザー 2人 事務局側 5人 11人	修了者 7人 県外企業アドバイザー 2人 事務局側 4人 13人	修了者 4人 県外企業アドバイザー 3人 事務局側 7人 14人

2. 2025年振返り：③ 第1回意見交換会後アンケート調査結果：会の目的と期待及び得たい事

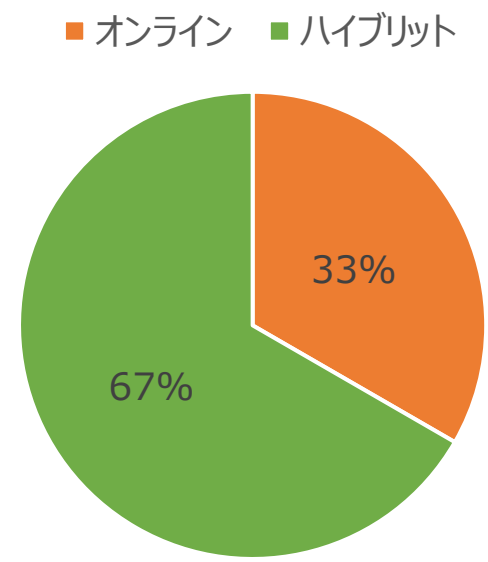
目的	<ul style="list-style-type: none">① 色々な世の中の変化を共有して欲しい。自分の困った事を相談するなど② 沖縄の経済発展、雇用や人材育成に役立てたい③ 繋がりを維持すること、協働の可能性を話せること、事例の共有④ それぞれの身近な事例を持ち寄り、どんなあるべき姿で解決できるか意見を出し合う。⑤ 今後やってみたいこと、新しいビジネスなどを語り、その場にいる人で、それについての情報を持ってる人がアドバイスする。など⑥ AI等の動向を踏まえ、研修で学んだ方法論を応用する思考を学ぶことを目的としたいです
期待/ 得たい事	<ul style="list-style-type: none">① 自分の状況を伝え、アドバイスを得る。他の人の状況も知る② 将来を見据えたデジタル育成事業③ ビジネスとしてのアウトプットを企画して実行するきっかけづくりになることを期待します。定期的な意見交換会でも十分とは思いますが、せっかくなご縁を具体的な成果として形作っていければより素晴らしいと考えます。④ 今回のように、最新の活動の事例をお聞きしたいです。⑤ 発想の転換ができそうなワークやゲームなどで視野を広げる。など⑥ 実案件の相談、アイデア出し・案件創出⑦ 今後、地域DX人材としてプロジェクトに参画していくことを前提に、研修で学んだことを実際の地域課題でどう活かせるかを継続して学べる場になることを期待します。⑧ 実際、案件を受託したとして、どういうスキームでプロジェクトを推進していくことになるのかは知っておきたいところです。⑨ AIとDXの関係についても知見を深めつつ、AIの活用事例も学びたいです。⑩ 例えば、会のメンバーの居住域の課題を取り上げ、ケーススタディとして解決策を出す演習ができると、実際にプロジェクトがスタートするときには比較的スムーズに取り組めるのではないかと思います。また、そのプロジェクト案件について、アドバイスをいただけるような場として機能すると、アウトプットの精度が上がるのではないのでしょうか。⑪ 開催頻度は内容によって柔軟に運用し、必要に応じて録画の対応や資料共有をしていただければと思います。

2. 2025年振返り：④ 第1回の意見交換会後のアンケート調査結果：開催頻度と開催方法

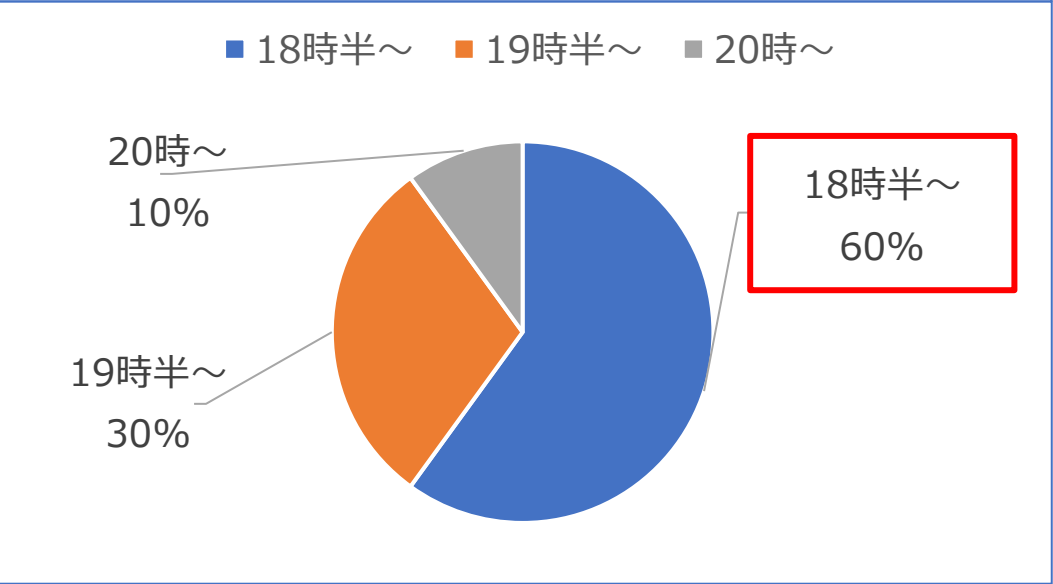
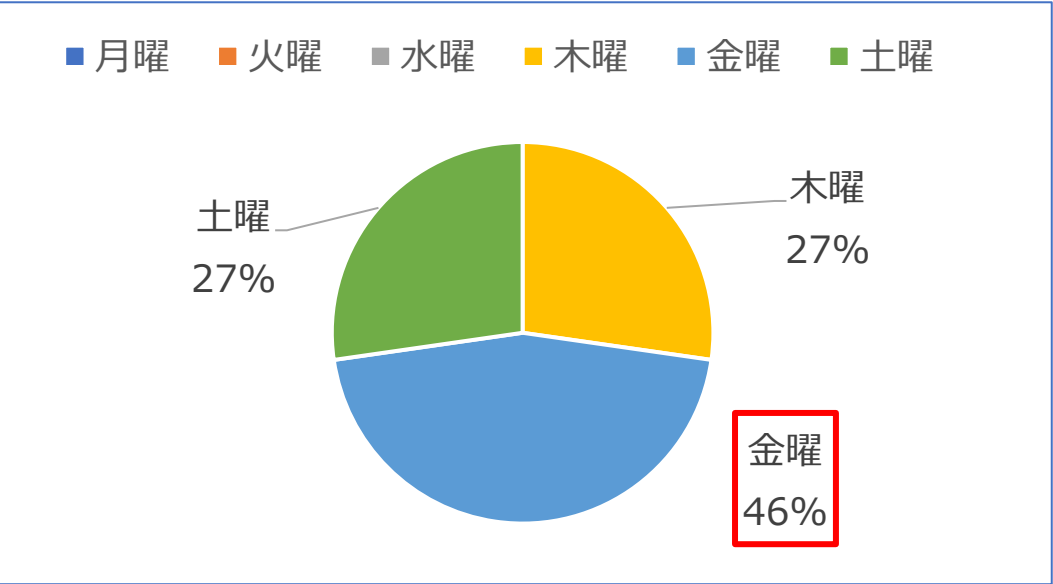
【開催頻度】
↓
3か月毎とする



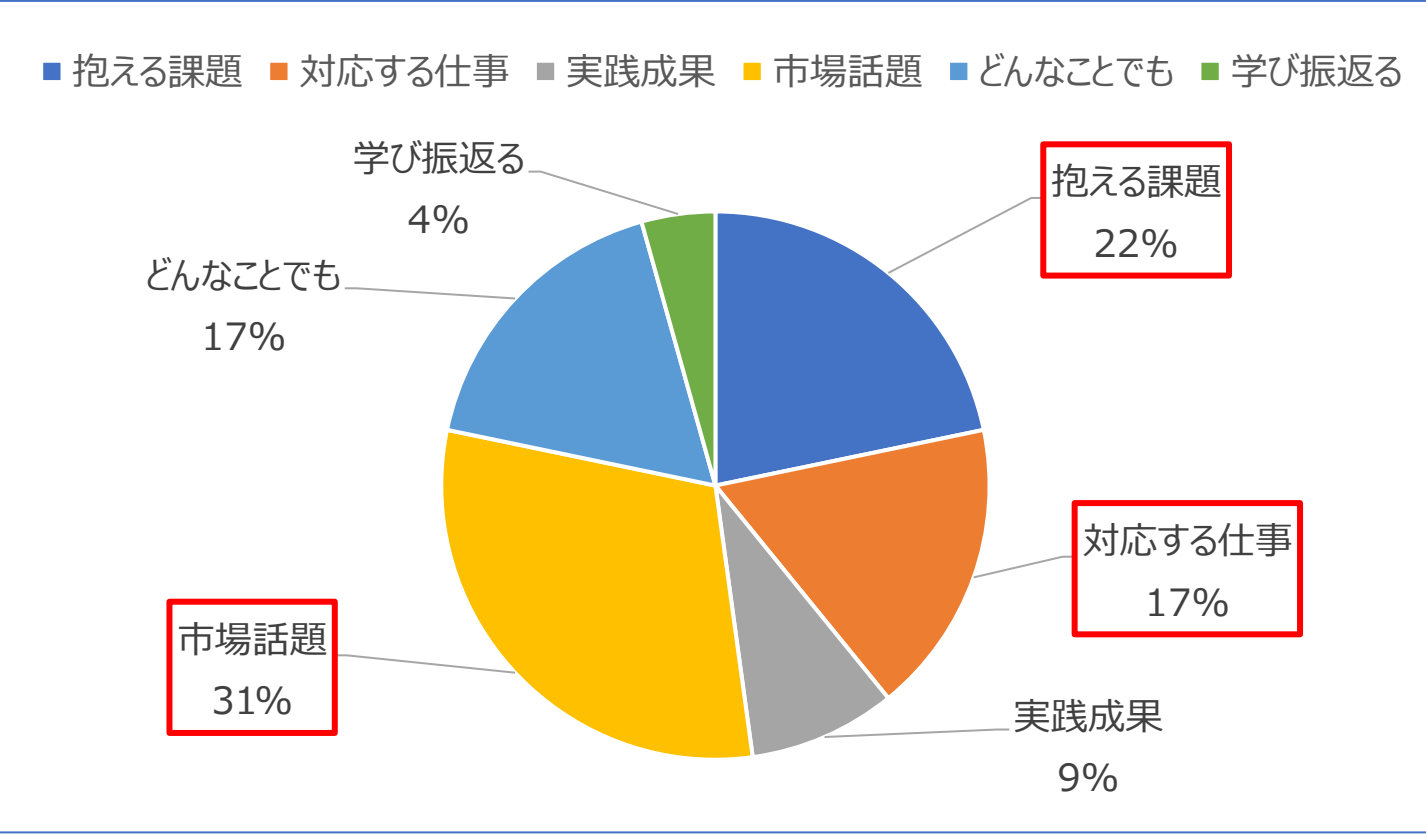
【開催方法】
↓
ハイブリット
(オンラインと対面組合せ)



2. 2025年振返り：⑤ 第3回の意見交換会後のアンケート調査結果：開催曜日と時間、議論内容



開催曜日：① 金曜日、② 木曜日・土曜日
開催時間：① 18時半～19時半 or 20時、② 19時半～20時半
③ 20時～21時
議論内容：① 市場からの最新話題、② 修了者の抱える課題・話題
③ 対応する仕事（仕事案件等）



2. 2025年振返り：⑥ 第3回の意見交換会後のヒヤリング結果：意見交換のテーマ、内容等

1. 人材会で提供された話題について（2025年の3回の開催）
 - ① 県外、市場等での**最新の情報を知ることが出来た**
 - ② 修了者にとって、**馴染みのない話題**であり、短時間で**理解することが難しかった**
 - ③ **参加して自分にとって役に立つ話題と思えなかった**
2. 人材会への参加について
 - ① 会の**目的、位置付け**が明確でなく、**理解できていない**
 - ② 参加して共有し議論する困っている事、議論したい事等を見つけられずにいる
 - ・ 発表することがない、自分には関係ない、二の足を踏む等**参加するモチベーションが上がらない**
 - ③ 参加して**得られる事、提供できる事がなかった**
 - ④ 事前に事務局よりアジェンダが配布され、テーマ毎の**時間が決まっているので、質問を遠慮してしまった**
3. 意見交換内容について
 - ① **沖縄の産業に合わせたもの**にする（観光産業、各地域・自治の課題など）
 - ② **日常での「嬉しかったこと、気が付いたこと、困ったこと」などを共有して話題とする**
 - ③ 住んでいる**地域での困り事、良かった事等を持ち寄り、議論をする**



意見交換のテーマは、アンケートとヒヤリング調査結果を踏まえて、
A.「修了者の抱える課題・話題」、B.「対応する仕事（仕事案件等）、市場からの最新話題」とする
Aの時間枠を30分～40分を持ち、当日の参加者から提供をして頂く
Bについては、事務局側で準備を行い、会話の状況で情報を提供するようにする

3. 2026年の人材会の運営について：① 概要

1. 人材会の開催について

- ① 会の目的、位置付け等を明確にして共有する（はじめにを参照のこと）
- ② 基本は、2025年同様に3か月毎に開催を実施する
- ③ 開催日程は、年初に年間計画を共有して、各会開催2か月前にメールにて発信する
- ④ オンラインと対面のハイブリット方式で開催する（2025年同様）

2. 情報共有について

- ① 日常の困り事、気が付いた事、興味ある事等を都度、共有する環境を構築して運用する
 - ・ **“Zoom Chat”のような情報共有ツール**を立上げて、意見交換の活性化する
- ※を得て実証実験を行い、その結果をもとにして、**2月の会合より運営を開始する**

3. 1月にメンバーの協力

4. 意見交換のテーマについては、アンケート及びヒヤリング調査結果を踏まえて

A.「修了者の抱える課題・話題」、B.「対応する仕事（仕事案件等）、市場からの最新話題」とする

- ① Aの時間枠を30分～40分を持ち、当日の参加者から提供をして頂く
 - ② Bについては、事務局側で準備を行い、会話の状況で情報を提供するようにする
- ※**対応する仕事（仕事案件）は、修了者からの紹介も喜んで受け入れます**ので、ご協力をお願いします

3. 2026年の人材会の運営について：② 年間開催日程（予定）

#	日程	時間	備考
1	2月13日（金）	18:30 – 19:30	対面会場は、おもちまち付近を予定しています
2	5月15日（金）	18:30 – 19:30	※石垣、名護、沖縄市等の開催希望があれば
3	8月28日（金）	18:30 – 19:30	遠慮なく、事務局へ要望をお知らせ下さい
4	11月27日（金）	18:30 – 19:30	

※ 運営上の都合で、日程と時間に変更になる可能性があります
参加対象者は、年間日程で時間の確保をお願いします

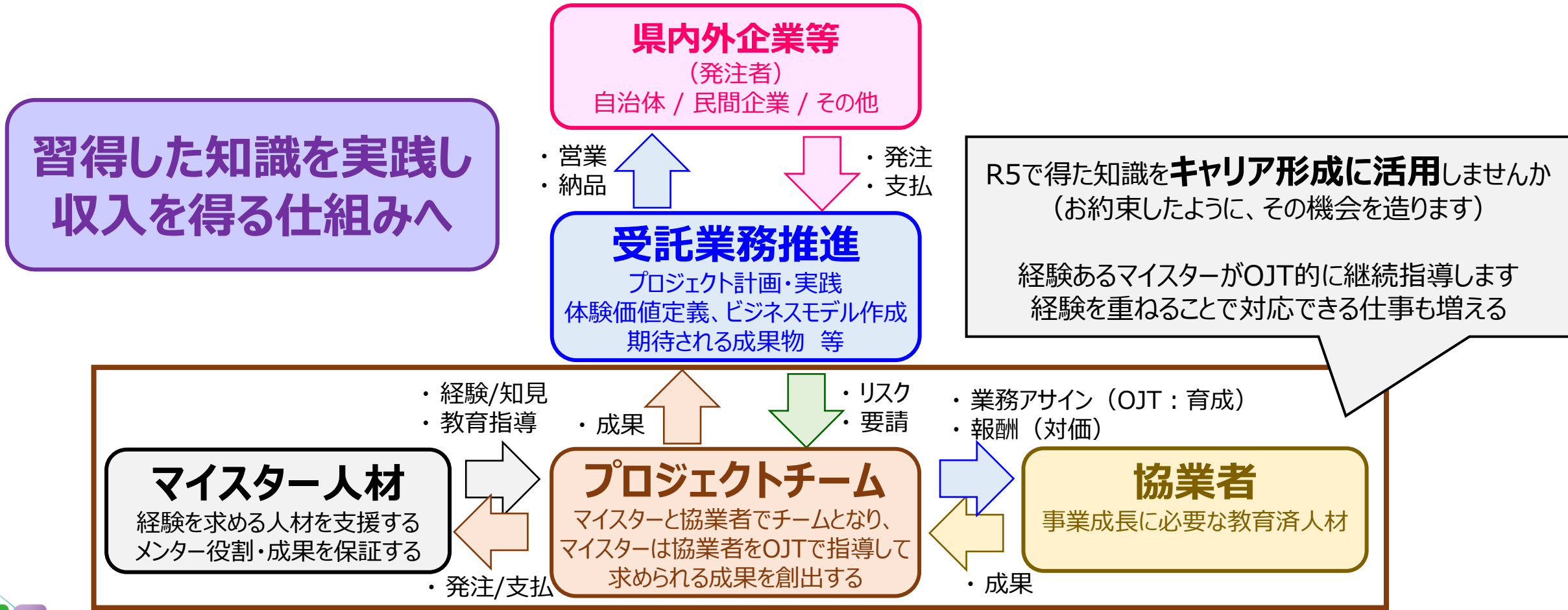
A.「修了者の抱える課題・話題」、B.「対応する仕事（仕事案件等）、市場からの最新話題」とする

- ① Aの時間枠を30分～40分を持ち、当日の参加者から提供をして頂く
※2か月前の開催時に、議論テーマをお知らせします。2月向けは、1月中旬になります
- ② Bについては、事務局側で準備を行い、会話の状況で情報を提供するようにする



4. 実践教育（OJT）推進体制：実プロジェクト推進を実践する

- ◆ 知識習得後の育成：経験豊富なマイスターと協業をして、実践教育（OJT）をプロジェクト形式で行う
 - ・ 困り事/諦り事などの事業改善・変革を定義して、ビジネスモデルを描き実践する
 - ・ マイスター（経験豊富）人材と教育による実務基礎知識を得た人材がチームで対応する仕組みを運用する



- ◆ 研修の中でも、会話をしたり、研修後の継続した人材育成（OJT的なもの）を含めて、皆さんがチャレンジする時に、支援する体制を検討している。
- ◆ また、通常の事業の中で、研修により知識を得た人材が、その知識を活かして活躍する場を運営する



- ◆ 難しく考えない、大きな成果を求めなくても良い
大切なことは、何か自分が気になる事、改善したいこと、貢献したいことに対して
向き合い、挑戦することだと思います

応援させて下さい！ きっと、一歩踏み出せば、その先にビジネスがあるかなと。。。

Thank you.



U X D Q

URL: <https://www.uxdq.or.jp>